

取扱説明書

PULSE エンジンタコメータ PET-1200

★ 追浜工業株式会社

〒237-0061 神奈川県横須賀市夏島町14-2
TEL.046-866-2139 (代) FAX.046-866-3090
E-mail: info@oppama.co.jp http://www.oppama.co.jp

- ご使用前に、必ず取扱説明書を読んで正しく使用してください。
- 取扱説明書は、製品を廃棄するまで大切に保管していつでも見られるようにしてください。
- PET-1200は欧州指令 RoHSに対応しています。

A. 本機の機能

- 本機は、点火プラグ発火の際に発生するパルスを感じ取るパルスカウント方式のタコメータです。
 - 2ストローク1~4気筒、4ストローク1~6・8気筒のガソリンエンジンの回転数が計測できます。
 - ダイレクトイグニッションを使用しているエンジンにも対応しております。(一部対応不可エンジンあり)
 - 計測中の最高回転数を記憶いたします。
 - 計測時間を記憶するアワーメータ (累積稼働時間計) 機能付です。
 - 付属のセンサを使用しエンジンから離れた場所でも計測できます。
 - 回転数出力線があるエンジンにはオプションのDセンサを使用して回転数を計測できます。
- ※ディーゼルエンジンは計測できません。

警告

付属センサ及び吊りひもをご使用の際は、エンジン操作に影響が無いことを必ずご確認ください。回転物に巻き込まれる等、重大な事故の発生の危険があります。

警告

回転数計測の際は、身体の一部、服装、身に付けている物等が回転物に巻き込まれないように充分にご注意ください。重大な事故の発生の危険があります。

注意

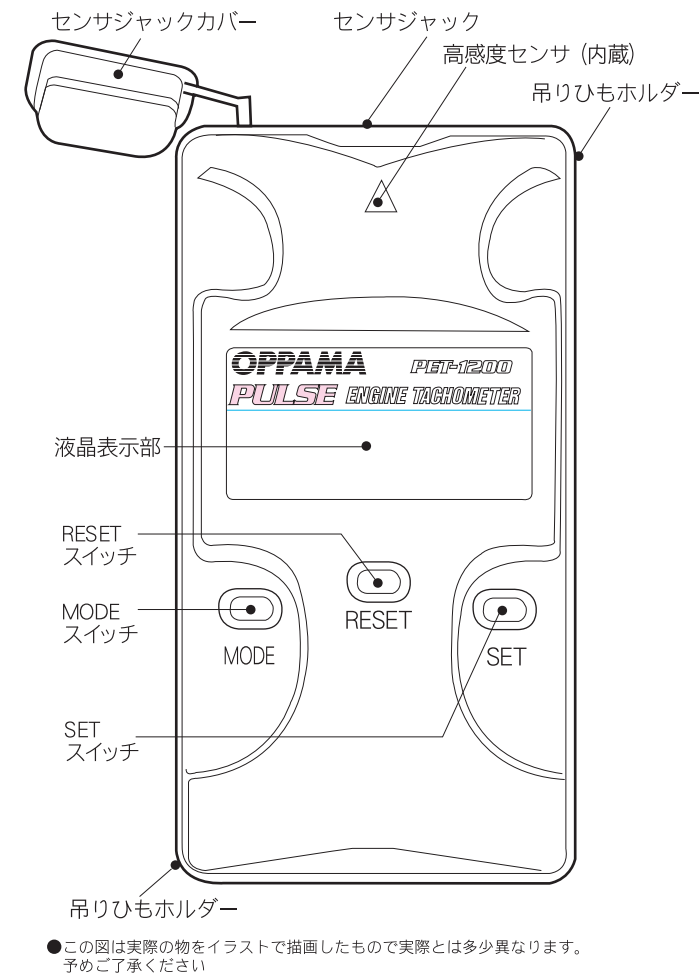
交換した電池は小さなお子様が悪く電池を飲み込まないように、手の届かない所に保管してください。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

注意

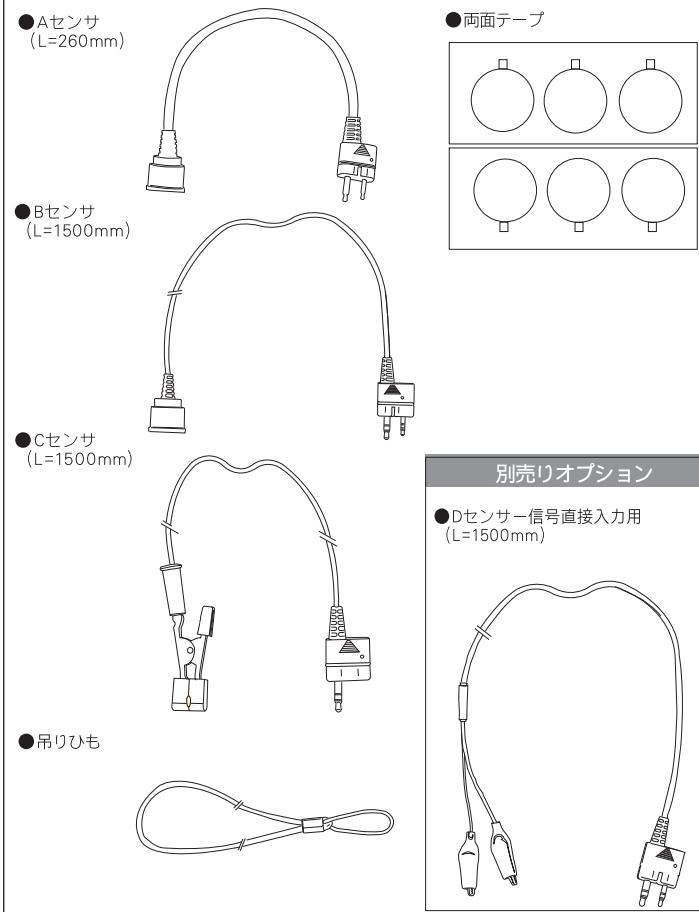
電池の廃棄方法につきましては、自治体で条例などの取り決めがある場合は、その条例に従って廃棄してください。

本製品の使用の上で生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので予めご了承ください。

B. 各部の名称



PET-1200付属品



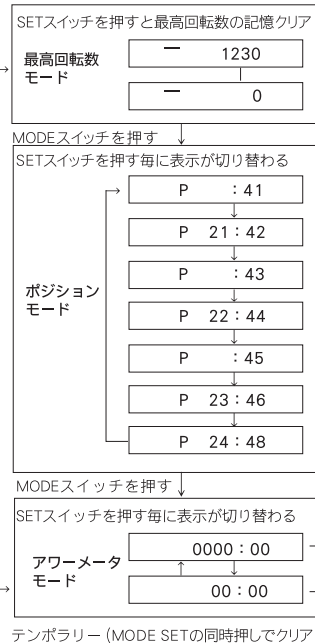
C. ポジション表

ポジション	計測可能エンジン		計測可能範囲 r/min
	ストローク	気筒	
P : 41	4	1	100~30000
P 21 : 42	2	1	100~30000
	4	2	
P : 43	4	3	100~20000
P 22 : 44	2	2	100~15000
	4	4	
P : 45	4	5	100~12000
P 23 : 46	2	3	100~10000
	4	6	
P 24 : 48	2	4	100~7500
	4	8	

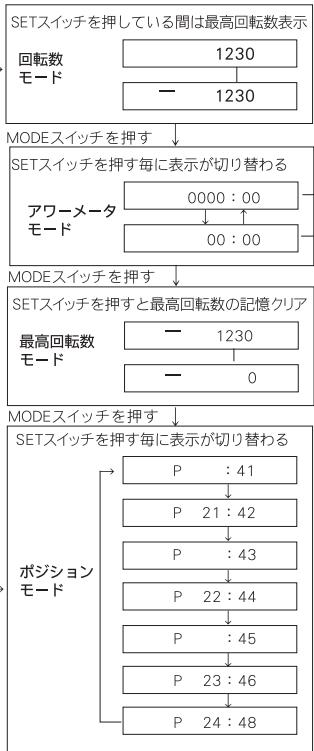
E. モードの設定

本機は、非計測時のモードと計測時のモードがあります。使用目的に合わせて、表1「非計測時のスイッチ操作」表2「計測時のスイッチ操作」を参考にして設定を行ってください。

非計測時のスイッチ操作(表1)



計測時のスイッチ操作 (表2)



E. 各モードの説明

E-1 非計測時 (パルスが入力されていないとき-表1)

- ①ポジションモード
「C. ポジション表」に従って、計測するエンジンタイプを選択するモードです。(SETスイッチを押すごとにポジションが切り替わります)
※設定したポジションは、他モードに切り替えたりオートオフになっても変更しません。
- ②アワーメータモード
●エンジンの累積稼働時間を表示するモードです。SETスイッチを押すことにより、テンポラリー「0:00」、トータル「0000:00」の2通りの累積稼働時間の表示切り替えができます。
●テンポラリー表示はMODEスイッチとSETスイッチを同時に押すことによりクリアされます。
※リセットスイッチを押すか、電池を交換した際は、テンポラリー、トータル共にクリアされます。
●出荷時検査のため、累積時間表示はゼロでない場合があります。
- ③最高回転数モード
計測した最高回転数を表示/クリアするモードです。SETスイッチを押すことによってクリアされます。
※リセットスイッチを押すか、電池を交換した際は、クリアされます。

E-2 計測時 (パルス入力時-表2)

- ①ポジションモード
計測時にポジションを変更させるモードです。操作方法と注意事項は非計測時ポジションモードと同じです。
- ②回転数モード (製品出荷時はこのモードに設定してあります。)
計測している回転数を表示するモードです。
- ③アワーメータモード
計測時に累積稼働時間を表示させるモードです。操作方法および注意は非計測時のアワーメータモードと同じです。
※計測時はどのモードでも累積時間は記憶更新されます。
- ④最高回転数モード
計測時に最高回転数を表示するモードです。最高回転数は計測中自動更新されます。

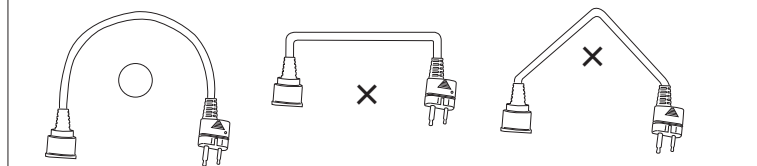
F. 計測方法

F-1 接触式計測 (ダイレクトイグニッション-Aセンサ使用-図1)

- ①ダイレクトイグニッションのコイル頭部が見えるように、エンジンカバー類を取外します。
- ②本機のセンサジャックカバーを外してAセンサを図1のように本機に取り付けます。
- ③MODEスイッチまたはSETスイッチを押して電源をオンにします。
- ④「D. モードの設定」を参考にしてポジションモードに切り替え、ポジション「P:41」を選びます。
※2倍の回転数を表示するようでしたらポジションを「P21:42」に切り替えてください。
- ⑤稼働しているエンジンのダイレクトイグニッションの頭部にAセンサを図1のように接触させます。エンジンの回転数が表示されます。

※ダイレクトイグニッションのコイル頭部にAセンサを接触させる際、なるべくイグニッションの頭部の平らな面とセンサの平らな面を合わせてください。合わせない場合、正確な回転数が表示されない可能性があります。

※Aセンサは自由に曲がります。計測しやすい形状に曲げて使用してください。但し、鋭角に曲げると破損する恐れがありますので、鋭角に曲げたり折らないでください。



※表示が想定より高く安定しない場合は、F-3の計測方法をお試しください。また、回転数が表示していない場合は、弊社にお問い合わせください。

- ⑥センサ部を稼働中のダイレクトイグニッションのコイル頭部から遠ざけるか、エンジンを停止させると自動的に非計測時に設定したモードに切り替わります。
- ⑦約1分後、自動的に表示が消えます。